

住宅用火災警報器を定期的に維持管理しましょう！

警報が鳴ったときは

火災のとき

大声で周りに火災を知らせ、**119番通報**をしましょう。
可能なら消火を行ってください。
消火が難しそうな場合は速やかに避難してください。



火災ではないとき

火災以外の湯気や煙などを感知して警報が鳴った時は、警報音停止ボタンを押す、ひもがついているタイプのものはひもを引く、もしくは、室内の換気をするると警報音は止まり、通常の状態に戻ります。

台所でよく鳴る・・・

煙や湯気が直接かからない場所に警報器の場所を変えるか、熱式の警報器に取り換えてください。

煙霧式の殺虫剤を使用する際は・・・

警報器を取り外すか、ビニール袋で覆ってください。その際は、火災予防に万全を期すとともに、殺虫剤使用後は必ず警報器を**元の状態**に戻してください。



日頃のチェックの方法

- 正常に作動するか、月に1回確認をしましょう。

お手入れをしましょう

警報器にホコリが付くと火災を感知しにくくなります。汚れが目立ったら、乾いた布でふき取りましょう。

特に、台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。布に水やせっけん水を浸し、十分絞ってから汚れをふき取ってください。



テストをしましょう

テストは、ボタンを押したり、ひもがついているタイプの場合は、ひもを引いて行えます。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。

音が鳴らない・・・

次のことを確認しましょう。

- ・電池はきちんとセットされていますか？
- ・電池切れではありませんか？

それでも鳴らない場合は、故障が考えられます。取扱説明書をご確認ください。



交換の時期

電池切れかな？

電池切れの時には音声でお知らせするか、ピッ・・・ピッ・・・と短い音が一定の間隔で鳴りますので、新しい電池に交換してください。

警報器本体の寿命は・・・

本体の寿命については、10年を目安としています。